

第318回

日文研フォーラム

講師◎周耘 武漢音楽学院(中国)教授/日文研外国人研究員

悠久なる郷ふるさとの響き——黄檗声明の中国的要素

コメンテーター◎細川周平 日文研教授

司会◎佐野真由子 日文研准教授

2018年2月13日(火) 十四時～十六時(開場十三時四十分頃)

ハートピア京都3階大会議室 入場無料・先着一八〇名まで

申込不要(十三時十五分頃より整理券配布)

International Research Center for Japanese Studies
The 318th Nichibunken Forum

主催:大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

日文研30周年
NICHIBUNKEN 30th ANNIVERSARY

日文研フォーラム

悠久なる郷の響き

—黄檗声明の中国的要素

The Eternal Resonance of the Hometown:
Chinese Characteristics in Ohaku Shomyo

黄檗宗は日本仏教の禪宗に伝わる三大宗派の一つであり、明末清初に中国から渡ってきた臨済宗の高僧、隠元隆琦によって創立されました。日本に伝わる仏教諸宗派のなかでも、明清代の大陸的な仏教要素を色濃く残し、「念仏禪」という修行方法を有することが特徴的です。とくに、黄檗声明と呼ばれるその儀礼音楽は、一六五〇年代にこの宗派が成立してから現在に至る三世紀半を経てなお、明清代仏教音楽の様式や詞章の内容、その他多くの要素を保っており、「悠久なる郷の響き」と呼ぶことができます。

本講演では、フィールドワークと文献考察をもとに、黄檗声明という明清代の仏教音楽が日本でいかに伝承され、また日本化してきたのか、その変遷の経緯を紹介いたします。そして、ディアスポラという視点から、「悠久なる郷の響き」を形成した社会的・歴史的・文化的要因を考えてみたいと思います。

講師 周耘 武漢音楽学院(中国) 教授/日文研 外国人研究員



1990年、武漢音楽学院(中国民謡研究)にて修士号取得。1998年、京都市立芸術大学大学院(黄檗声明研究)にて第二修士取得。2007年、東京藝術大学大学院(仏教儀礼音楽研究)にて博士号取得。2008年、武漢音楽学院演藝学院副院長。現在同学院学部長及び長江伝統音楽研究センター主任。2017年9月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。

専門分野は、民族音楽学、仏教儀礼音楽、中日音楽比較論。主要著作に『曼妙和譜——仏教音楽観』(宗教文化出版社、2012、中国語)『天寧梵唄研究』(宗教文化出版社、2014、中国語)『中国伝統民謡概論』(高等教育出版社、2013、中国語)『中国音楽鑑賞・古箏編』(湖南文艺出版社、2000)など。主な論文に『中日仏教音楽風格比較研究』(京都市立芸大『研究紀要』、1997)などがある。

コメンテーター 細川周平 日文研 教授



1989年東京芸術大学大学院にて博士号取得。1996年より東京工業大学社会理工学研究科勤務、2004年より日文研勤務。

専門分野は近代日本音楽史、日系ブラジル文化史。主な著作に『サンバの国に演歌は流れる』(中公新書、1995)、『シネマ屋、ブラジルに行く』(新潮選書、1998)、『遠きにありてつくるもの——思い・ことば・芸能』(みすず書房、2008)、『日系ブラジル移民文学1——日本語の長い旅「評論」』(みすず書房、2012)、『日系ブラジル移民文学2——日本語の長い旅「歴史」』(みすず書房、2013)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2

TEL: 075-335-2078

http://www.nichibun.ac.jp/ja/



日文研



京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車

第319回 日文研フォーラム 2018年 3月13日(火) 14:00~16:00

講師：ハサン カマル ハルブ エジプト国立カイロ大学文学部 准教授/日文研 外国人研究員

コメンテーター：瀧井 一博 日文研 教授 / 石上 阿希 日文研 特任助教